

2026年4月28日

## テレメンタリー2025「落日のメガソーラー 問われる自然との共生」

### 「釧路湿原周辺におけるメガソーラー開発を巡る一連の報道」

## 第63回ギャラクシー賞

## テレビ部門奨励賞・報道活動部門奨励賞受賞

4月28日(火)発表の第63回(2025年度)ギャラクシー賞で、HTB制作のテレメンタリー2025「落日のメガソーラー 問われる自然との共生」がテレビ部門奨励賞を受賞、また、「釧路湿原周辺におけるメガソーラー開発を巡る一連の報道～自然・住民軽視のずさんな実態を追及～」が報道活動部門奨励賞を受賞しました。テレビ部門での奨励賞受賞は2024年度のテレメンタリー2024「沈黙の搾取 見過ごされた障害者虐待」に続き2年連続での受賞、報道活動部門での奨励賞受賞は2023年度の「北海道立看護学院パワーハラスメント問題 3年間の追及報道」以来となります。

ギャラクシー賞は、NPO法人放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、優秀番組・個人・団体を顕彰するために1963年に創設し、放送批評懇談会会員から選ばれた選奨事業委員会が応募のあった作品および選奨事業委員会が推奨した作品（CM部門を除く）の中から、「テレビ部門」「ラジオ部門」「CM部門」「報道活動部門」の4部門について年に一度表彰しています。「報道活動部門」は、放送における報道活動のあり方を議論し、優れた活動に光をあてるとともに、地域の放送ジャーナリズムの活性化を支援していこうと2002年度に設立されました。

今回、ギャラクシー賞テレビ部門奨励賞を受賞したテレメンタリー2025「落日のメガソーラー 問われる自然との共生」は、北海道東部に広がる日本最大の湿原「釧路湿原」周辺で相次ぐメガソーラー建設をめぐる問題取材。再生可能エネルギー推進の裏で希少な生き物の生息が脅かされている現状から、日本のエネルギーの未来について考えるドキュメンタリーです。この番組は、先にギャラクシー賞テレビ部門10月度月間賞も受賞しています。

この受賞について、高橋海斗ディレクターは「一地方の環境問題が国政を動かすまでの問題に発展しました。今後も再生可能エネルギーと自然や希少生物が共存していくための正しい仕組みづくりがなされるよう、報道を続けていきます。」とコメント。及川大地プロデューサーは「環境に優しいはずの再エネが貴重な生態系を壊している釧路の実情を多くの人に知ってもらい、今後のエネルギー政策に一石を投じるきっかけになればうれしいです」と、コメントを寄せました。

また、ギャラクシー賞報道活動部門では「釧路湿原周辺におけるメガソーラー開発を巡る一連の報道～自然・住民軽視のずさんな実態を追及～」が奨励賞を受賞しました。この活動は、地元の獣医師から寄せられた「オジロワシの巣がある場所にメガソーラーの建設が計画されている」という情報提供をもとに、情報開示や現場取材を重ね報道したものです。夕方の報道情報番組での放送に加え、全国放送のドキュメンタリー番組も制作し、一地方の環境問題から現在は国政をも動かす問題に発展しています。一連の報道をきっかけに釧路市は厳格な条例の制定、道は事業者に対し27回を超える行政指導や環境大臣に直接法改正を訴え、国はメガソーラー対策に着手すると明言しています。HTBでは再生可能エネルギーが自然や希少生物と共存していくために、今後も継続して取材を続けていきます。

※プレスリリースに関するお問い合わせ  
HTB 編成部 渡辺  
TEL : 011-205-7666  
メール : riwatanabe@htb.co.jp

(発行元) ウェルビーイング・コンプライアンス統括室

HTB 北海道テレビは2021年4月、国連のSDGメディア・コンパクトに加盟しました

